

気仙沼市図書館は、明治40年市内の篤志家から寄贈された図書・雑誌をもとに、気仙沼小学校旧校舎に児童図書館を設置したのが始まりとなっています。大正5年に文部省より町立図書館として認可され(蔵書520冊)、大正15年に、当時の気仙沼町長新沼綱五郎が気仙沼小学校敷地に独立図書館を建設し、町に寄付しました。

昭和22年に町民有志により、「図書館維持後援会」を発足し(会員110人、会費20円)、図書館増築の寄付を募るなど、市民の図書館運営への積極的協力を得ました。昭和43年には、市制10周年記念事業として新館を建設、現在にいたっています。また、この年には、宮城県図書館から図書を借りて、貸出文庫により館外奉仕を開始しました。昭和46年に仙台市図書館から移動図書館車を譲り受け、「おおぞら号」と命名、運行を始めました。現在は4台目の「おおぞら号」が運行しています。

旧唐桑町との合併により、平成18年7月には、旧唐桑町公民館図書室を気仙沼市図書館唐桑分館として開館し、専任職員1名が担当しています。平成19年12月から長年の課題であった、コンピューターによる蔵書管理システムが稼働し、1人当たりの利用可能冊数が4冊から10冊(その他にAV資料2点)と増え、また、検索機能が充実し、インター

ネットでの蔵書検索も可能となりました。利用者が自分で読みたい本を探しやすくなり、評判は上々です。リクエスト・予約冊数も大幅に増えています。

今後は、「気仙沼市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や地域などとの連携をさらに強化し、子ども読書の推進に努め、また、より多くの市民の要望に応えての資料提供のみならず、市民生活に欠かせないさまざまな情報を提供する「生涯学習情報発信基地」を目指して参ります。



住所：〒988-0073 宮城県気仙沼市世が陣3-30
TEL：0226-22-6778 FAX：0226-22-0964
H P：http://www.lib-kesenuma.jp/

気仙沼市図書館

- 蔵書冊数：195,026点(平成19年度末)
- 貸出冊数：155,775点(平成19年度実績)
- 開館時間：9:00～17:00(火曜日から日曜日)
- 休館日：毎週月曜日、祝日
(祝日が月曜日のときはその翌日、毎月第4木曜日
(その日が休館日のときはその直前の開館日)、年末年始、特別整理期間
- 交通：JR気仙沼駅から市役所経由で徒歩20分

図書館からのお知らせ



INFORMATION

宮城県図書館移転開館10周年記念特別展
「叡智の杜から(第1回)一仙台藩校・養賢堂の和算書と洋学書一」を開催中です

新館移転10周年を記念して、仙台藩の藩校「養賢堂」に由来する「養賢堂文庫」から、全国的にも評価の高い「和算書」と「洋学書」を展示し、本館の源流となり、明治以降も多彩な人材を輩出した養賢堂の学問について紹介します。

- 期間 平成20年12月6日(土)から平成21年2月27日(金)
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
- 場所 展示室(2階) ●入場は無料です。
- 問い合わせ 資料奉仕部調査班(3階) 電話 022-377-8483

●特別整理期間のため休館します●

蔵書の所在や状態を点検するため、下記の期間は休館します。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

特別整理期間

平成21年1月29日(木)から
平成21年2月11日(水)まで

表紙エッセイ/木村紅美さん



きむら・くみ 作家。1976年兵庫県生まれ。宮城県仙台南山高等学校、明治学院大学文学部芸術学科卒業。2006年、『風化する女』で第102回文學界新人賞受賞。著書に『風化する女』『島の夜』『イギリス海岸イーハトーヴ短編集』『花束』。2008年、『月食の日』(文學界5月号)で第139回芥川賞候補。現在、東京在住。実家は岩手県盛岡市。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889～1891年刊行)に由来する。

第29号 2008年12月発行

〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441 (代表)
FAX022-377-8484
ホームページ
http://www.library.pref.miyagi.jp/

編集・発行

宮城県図書館

広告

女性起業家を応援する新聞マガジン
わんからっとエル



編集長 小泉知加子



●お問合せ先 南小泉プロダクション わんからっとL編集局 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-12-1-803
TEL.022-262-7915 FAX.022-262-7918 ホームページ http://www.onecarat-L.co.jp/
南小泉プロダクションでは、自分史・企業年史の代筆・構成・編集出版・宣伝のご相談も承っています。「そろそろいかがですか?」



購読会員募集中!

2/20、5/20、8/20、11/20の年4回発行
A4判・20ページ

デザイン/印刷 仙台共同印刷